

早川平会計事務所通信

8月号 VOL. 057

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 FAX：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



いつもお世話になります。過去の栄光を忘れられず、プライドに縛られながら現実逃避する人がいる一方、松井秀喜選手には大和魂を見せてもらいました。過去は過去として今できることに邁進するという姿勢は、コツコツ積み上げることの大切さを教えてくれます。野球ファンならずとも「頑張れ松井！」の心境ですね。

【法人税率が引き下げられました】

平成二十三年十二月二日に所得税法等の一部を改正する法律が公布され、「法人税率の引き下げ」「欠損金の繰越控除制度等の見直し」「減価償却の定率法の償却率等の見直し」などが改正されました。そこで今回は、「法人税率の引き下げ」についてお話いたします。引き下げの目的は「デフレから脱却し、日本経済を本格的な成長軌道に乗せていくため、国内企業の国際競争力強化と外資系企業の立地を促進し、雇用と国内投資を拡大する」とされています。普通法人などの改正前の法人税率は、中小法人以外の法人であれば30%で、中小法人においては年800万円以下の部分は18%、年800万円を超える部分は30%でした。改正後は、平成二十四年四月一日から平成二十七年三月三十一日までの間に開始する事業年度については、中小法人以外の法人は25.5%で、中小法人は年800万円以下の部分は15%、年800万円を超える部分は25.5%になりました。ただし、東日本大震災の復興財源を確保するため、平成二十四年四月一日から平成二十七年三月三十一日までの期間内に、最初に開始する事業年度開始の日から、同日以後三年を経過する日までの期間内の日に属する事業年度については、各事業年度の所得の金額に対する法人税の額に10%の税率を掛けて計算した「復興特別法人税」を、法人税と同じ時期に申告・納付する必要があります。



【「強みを見出しどのように展開するのか」今後の動きに注目です！】

4月に開通した『新東名高速道路のサービスエリア（SA）』が盛況です。新しいSAはご当地グルメのフードコートやアパレル、雑貨ショップなどを備え、比較的道路が空いているときでも駐車場は満車。一方の旧東名は煽りを受け利用者数は減っていますが、海側を通っているため眺望の良い所が多く、今でも「日本の大動脈」であることに変わりありません。お互いがライバルではなく、それぞれの強みを活かすことができるかどうか。今後の展開に注目したいですね。



A型	B型	O型	AB型
古い物を一掃して新しい気を取り入れるのが開運のポイント。机周りや引き出しの中をキレイに片付けると吉！	ツキに見放されていると感じる人は、靴を入念に磨くと良いでしょう。身だしなみも運氣も、足元が肝心ですよ。	目上に対する失言に要注意。立場が悪くなるだけでなく後々まで尾を引きそうです。ラッキーカラーは赤&黒！	交際運が活発な今月は人の集まる場所に顔を出すと吉！疎遠になっている方への連絡も忘れずに行いましょう。

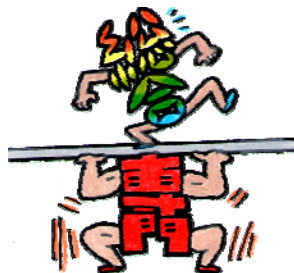
【「これができます！」は「何でもやります」より強し】

「便利屋」という職業が登場したのは十数年前でしょうか。そのネーミングのせいも、「便利屋＝急場しのぎ」と思っている方がいらっしゃるかもしれませんが、様々な雑事の代行業務を行う便利屋は「サービス業」という立派な専門職でしょう。雨樋の修理と除草と犬の散歩と買い物代行業を、ひとつの会社に頼めるのは利用者にとっての大きなメリットで、だからこそニーズがあるのでしょう。便利屋のニーズがあるのは「とりあえず何でも引き受ける」からではなく、困ったときに何でも頼める「便利」の専門職だからなのです。商売をしていると、広くお客様を取り込みたいがために「何でもやります」とうたってしまうことがあります。確かに、「これしかできません」より「何でもお任せください！」のほうがお客様に喜ばれるような気がします。しかし、とりあえず間口を広くしておけば有利だろうという発想では、なかなか上手くはいかないものです。

たとえば、原因が分かっている腰痛の治療に、わざわざ総合病院を訪れる人がいるでしょうか。原因が分かっているなら、その腰痛の治療に長けた病院を探すはず。そこで「得意分野は腰痛です」とうたっている治療院があれば、もちろんそこに足を運ぶでしょう。せっかくなら専門のところで診てもらいたい。患者として、ごく当たり前の選択です。総合病院を訪れる患者は、自分の症状に合った専門病院が見つければそちらに流れて行きます。

つまり、腰痛も肩こりもむち打ちもリハビリも「何でもござれ」だとしても、あえて「これが得意です」と専門性をアピールすることで、患者に選ばれる確率が一気に上がることはすでにご存知だと思います。

ただ単に「総合病院発想」の商売をしていたなら、一時は盛り上がりつつも次第にお客様は離れていくことでしょう。しかし仮に今、「総合病院」の看板を掲げて商売をしても、「あなたの症状に合った専門病院を見つけます」と提案すれば、それは立派な「専門病院」と同じ立場になるのではないのでしょうか。



痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



『抜けるんですミニ』

芝生に生えた雑草を取るの、なかなか大変な作業ですね。『抜けるんですミニ』は、芝生に生えた雑草を根からまわし取る草取り器です。根の中心に差し込み、1～2回転させると雑草が抜けますよ！



抜けるんですミニ

検索